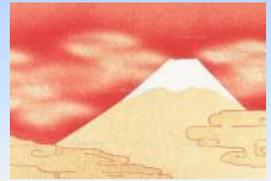


富士河口湖町立 教育センターだより

No.19



平成28年12月19日 文責 遠山 榮子

アフターフォロー

2学期も残すところ数日となりました。

間近に迫る冬休み・クリスマスやお正月に子ども達は、ワクワク。学校は、冬休みの事前指導、休み中は、学習物の整理や3学期の準備、進路指導、様々なフォロー等、相変わらずの忙しい毎日だと思います。教育センターはというと、3学期の計画と本年度のまとめや来年度に向けての準備に入っています。

教育相談室では、中学生のころ相談室に来室していた子が数名来室し、「近況報告」をしてくれました。

- ♥ 「休まないで高校に行っています。」と笑顔で話す子
- ♥ 「元気に大学に行っています。」と、通室している子にも様子を伝えてくれる子
- ♥ 「目標をもって勉強しています。」と、自信をもって絵を描いて見せる子
- ♥ 母親になり、子どもを連れて、うれしい話やら育児の悩みや家庭の悩みを相談する子

どのように関わっていくことがベストなのか手探りで歩んできた相談室ですが、担任の先生や保健室の先生、校長先生・教頭先生など多くの方々に支えられ、目を離さず、心を離さず、気持ちに寄り添って、とにかく歩んできた日々がいとおしく思えました。相談室が、この子たちに必要なものだったことが実感できると同時に、大人になり自立しようとしているとき、この相談室の「アフターフォロー」の大切さや在り方を教えてくれているようにも思いました。



学校現場でも、「フォローしないと」とか「フォローが難しい」とかいう言葉を耳にします。これは、「その後のフォロー」が子ども達の心の成長にとって大切だということを理解しているということです。



近年、場面や年代を問わず「アフターフォロー」の大切さが叫ばれています。社会的自立に向けた支援、社会的自立を促進するための仕組みづくり、不安への寄り添い、心の安定、心のよりどころ、生活の見届けなど、アフターフォローの内容はいくつも挙げられています。学校・家庭・地域という場だけでなく、教育センターの相談室も南都留教育相談ネットワーク会議の場（山口相談員が代表報告）や他機関と連携し、より良い「アフターフォロー」を模索しながら相談にあたっていきたいと考えています。



教育センターの
相談室予定

- * 12月7日 南都留教育相談ネットワーク会議
- * 12月22日 午後大掃除
- * 12月26日～1月11日 通室児童生徒冬休み
- * 12月29日～1月3日 年末年始休日のため休室
- * 1月12日 通室児童生徒新学期準備のため来室